



2012-13年度 国際ロータリーテーマ
『奉仕を通じて平和を』
Peace Through Service



2012-13 RI会長 田中 作次
RI 2820地区ガバナー 野 掘 喜 作

Hasaki Rotary Club Weekly



No.1716号 2013年3月7日発行

識字率向上月間

例会プログラム

- | | |
|-----------|------------|
| ・点 鐘 | ・幹 事 報 告 |
| ・国 歌 斉 唱 | ・委 員 会 報 告 |
| ・ロータリーソング | ・ニコニコ・財団報告 |
| ・RIテーマ唱和 | ・出 席 報 告 |
| ・ビジター紹介 | ・卓 話 |
| ・会長あいさつ | ・点 鐘 |

創立：1978年2月23日
加盟：1978年4月14日
例会場・事務所：神栖市商工会波崎支所
〒314-0343 茨城県神栖市土合本町5丁目9809-527
電話 0479(48)0333
例会日：毎週木曜日 12時30分～13時30分
○会 長 菅 谷 昭 夫
○会長エレクト兼副会長 長谷川 和 夫
○幹 事 金 子 大 作
○副 幹 事 篠 塚 茂 男

第1715(33回) 例会報告

平成25年2月28日(木)晴れ
進行：山本 SAA

本日のお客様：池田 稔郎 様(第8分区ガバナー補佐)

◇ 会長あいさつ 菅谷会長

こんにちは、先日の横浜キリンビール工場と横須賀軍港巡りの旅いかがでしたか、大変有意義な1日でした、幹事の骨折りで楽しむことが出来ました、有難うございました、私も初めて軍艦を見ました、当日は天気は良かったのですが風があり波が荒れていましたが何とか見学ができました、チケットを買いに行って頂いた篠塚さんの親戚の方にはくれぐれもよろしくお伝えください。有難う御座いました。



今日は池田ガバナー補佐が見えておりますので後程少々お話をおねがいします。3月3日はひな祭り(桃の節句)です、桃の節句の起源は平安時代にさかのぼります、昔は五つの節句があり(人日-1月7日七草粥、上巳-3月3日桃の節句、端午-5月5日端午の節句、七夕-7月7日七夕祭り、重陽-9月9日菊の節句、現在は廃止)貴族が季節の節目に身のけがれを祓う大切な行事でした、女の子のお祭りですので雛寿司と和菓子また桜餅そして菱餅(一番上が紅色で、桃・真ん中の白は雪、下の緑は草のこと)白酒でお祝いしてあげてください。桃の節句とは3月3日ごろに桃の花が咲く時期にあたるため、今の時期梅の花しか咲いていないので4月3日の月遅れで行う所もあります。

◇ 幹事報告 金子幹事

1. 国際ロータリー年次大会(リスボン大会)参加募集

年次大会の参加旅行募集案内が届いております。

日 程 2013年6月22日~26日

2. 詐欺メールについて

最近、ロータリーをかたる詐欺メールが出回っているそうです。このようなメールに返信したり、個人情報を送信したりしないようにご注意ください。

3. 3月のロータリーレート 1ドル = 92円

4. 3クラブ合同例会のお知らせ

日 時 3月15日(金) 点鐘18:30

3月14日の例会は15日に移動例会になります。

場 所 鹿島セントラルホテル

5. 休会のお知らせ

潮来RC 日 時 3月20日(水) 理 由 祝日のため

6. 週報拜受 玉造RC



◇ 第八分区ガバナー補佐 池田 稔郎 様あいさつ

ご挨拶申し上げます。

さて、過日開催致しましたR.I. 第2820地区第八分区I.M.に際しましては、ご多忙の中にも拘わらず、多様の会員の皆様のご出席をいただきましてありがとうございました。皆々様の暖かいご友情とご協力に支えられまして、研修会並びに懇親会を盛会裏に開催することができました。

特に研修会におきましては、貴クラブの国際奉仕等の活躍を映像にてわかりやすく、楽しく発表していただきました。

私といたしましても感謝申し上げますし、ホストの鹿島臨海RCの会員一同といたしましても心より感謝申し上げます。

又、本日会長・幹事さんに報告にまいりましたが、5月に来日するアメリカ第5830地区、テキサス州からのGSEチーム受け入れにおいてもご協力をいただき、重ねてお礼申し上げます。

今後とも、分区内外の活動に対しまして、一層のご指導やご意見をいただけますようお願いいたします。



◇ 委員会報告

○ 職業奉仕委員会 ……………安藤委員長

2月24日の職業奉仕・親睦委員会の合同事業に参加いただきましてありがとうございました。ビール工場見学と横須賀軍港めぐりと貴重な体験ができましたし、横浜中華街の重慶飯店の昼食も非常に美味しく頂くことができました。今後またこのような機会がありましたら、ご協力をお願いいたします。



○ 長谷川会長エレクト

2013～2014年度の人事の件ですが、前日の理事会、総会で会長エレクト、理事等の承認がされました。その他の委員長、委員の皆さんのご承認もよろしくお願いいたします。適材適職の人事と熟慮しまして決めさせてもらいましたのでご理解を賜りたいと思います。



○ 国際奉仕委員会 カンボジア担当 ……………金子会員

本年度のカンボジア訪問の日程は5月22日から5月26日です。ビザ申請、旅行申込書を配布しますのでご記入をお願いいたします。多数の方々のご参加をよろしくお願いいたします。



- 会員増強委員会……………泉委員長
会員増強リストを作成しました。担当の方々は入会見込み者との接触を3月中にお願いいたします。



◇ クラブフォーラム

- 社会奉仕委員会 ……………稲垣委員長
[事業予定]



1. 春の交通キャンペーンへの参加。
2. 桜の木の肥料の西宝山区への提供。3月の早い時期に実施。
3. ロータリークラブによる桜の木の下草刈の実施。3月末ころ実施。西宝山区との共同実施も考えています。

- 国際奉仕委員会 ……………篠塚委員長

国際奉仕委員会の事業は昨年から、カンボジアに古着・学用品の支援をおこなっており、今年度は3ヵ年計画の真ん中の年です。この事業は次年度で終結をすることになります。ネパールの事業（5ヵ年計画）からカンボジア支援に計画が移り来年度の終結後に新たな方向性（目的）を考えておく必要があります。従いまして今年度はカンボジアの事業と平行して、新しい事業の模索をする必要性がある為、会員から新たな提案して頂き次年度の国際奉仕委員会にバトンを渡したいと思っております。4月末まで提案のある会員は内容を知らせて下さい。



◇ 豆知識

- ひな祭り

雛祭りは女子のすこやかな成長を祈る節句の年中行事。ひいなあそびともいう。ひな人形（「男雛」と「女雛」を中心とする人形）を飾り、桃の花を飾って、白酒や寿司などの飲食を楽しむ節句祭り。雛あられや菱餅を供える。

・時期

和暦（太陰太陽暦）の3月の節句（上巳）である3月3日（現在の4月頃）に行われていたが、明治6年（1873年）1月1日の改暦以後は一般的にグレゴリオ暦（新暦）の3月3日に行なう。しかし一部では引き続き旧暦3月3日に祝うか、新暦4月3日に祝う（東北・北陸など積雪・寒冷地に多い）。旧暦では桃の花が咲く季節になるため「桃の節句」となった。

香川県三豊市の旧仁尾町では戦国時代に仁尾城が落城したのが旧暦3月3日であるという特殊事情のため、雛祭りには行われない。かわりに八朔に雛人形を飾る。また、兵庫県たつの市御津町室津地区でも、「八朔のひな祭り」といって旧暦8月1日に行っていた。「室津追考記」によると、永禄9年（1566年）1月11日の室山城主浦上政宗の弟の宗景の結婚式の夜に、かねてより対立関係にあった龍野城主赤松政秀の急襲にあい、花嫁は奮戦むなしく討死し、正宗は自害し、室山城落城。室津の人々はこの悲劇を悲しみ、非業の死を遂げた花嫁の鎮魂のために3月3日ではなく、半年遅れの八朔にひな祭りを延期した。御津町室津では、旧暦の8月1日にお雛様を飾る習慣があるので知られていたが、戦後この風習は長く途絶えていた。近年「八朔のひな祭り」を復興。江戸時代には9月9日の重陽の節句に雛人形をもう一度飾る「秋の雛」という習慣があった。それに習い秋にも雛人形を飾る地域が出てきている。

・歴史

「雛祭り」はいつ頃から始まったのか歴史的には判然とせず、その起源説は複数存在している。平安時代の京都で既に平安貴族の子女の雅びな「遊びごと」として行われていた記録が現存している。その当時においても、やはり小さな御所風の御殿「屋形」をしつらえ飾ったものと考えられる。初めは「遊びごと」であり、儀式的なものではなく其処に雛あそびの名称の由来があった。しかし平安時代には川へ紙で作った人形を流す「流し雛」があり、「上巳の節句（穢れ払い）」として雛人形は「災厄よけ」の「守り雛」として祀られる様になった。

江戸時代になり女子の「人形遊び」と節物の「節句の儀式」と結びつき、全国に広まり、飾られるようになった。この遊びである「雛あそび」が節句としての「雛祭り」へと変わったのは天正年間以降のことであり、この時代から三月の節句の祓に雛祭りを行うようになったと推測されている。もっとも、この時代には飾り物としての古の形式と、一生の災厄をこの人形に身代りさせるという祭礼的意味合いが強くなり、武家子女など身分の高い女性の嫁入り道具の家財のひとつに数えられるようにもなった。その為、自然と華美になり、より贅沢なものへ流れた。

江戸時代初期は形代の名残を残す立った形の「立雛」や、坐った形の「坐り雛」（寛永雛）が作られていたが、これらは男女一対の内裏雛を飾るだけの物であった。その後時代が下ると人形は精巧さを増し、十二単の装束を着せた「元禄雛」、大型の「享保雛」などが作られたが、これらは豪勢な金箔張りの屏風の前に内裏の人形を並べた立派なものだった。この享保年間から、人々の消費を当時の幕府によって規制するため一時的に大型の雛人形が禁止された。『御触書宝暦集成』十五では、「雛は八寸以下、雛諸道具は蒔絵は不可」という制限が見られる[1]。しかし、この規制を逆手に取り「芥子雛」と呼ばれる精巧を極めた小さな雛人形（わずか数センチの大きさ）が流行することになる。

江戸時代後期には「有職雛」とよばれる宮中の雅びな装束を正確に再現したものが現れ、さらに今日の雛人形につながる「古今雛」が現れた。また、18世紀終わり近くより雛子人形が現れ、幕末までには官女・隨身・仕丁などの添え人形が考案された。雛飾りは嫁入り道具や台所の再現、内裏人形につき従う従者人形たちや小道具、御殿や壇飾りなど急速にセットが増え、スケールも大きくなっていった。御殿は江戸では用いられず、関西およびその影響を受けた地方で用いられ台所道具も同様である。

江戸の古今雛には原舟月などの作家ものがあり、ガラス製の玉眼も比較的早く用いられた。京都製に玉眼が入るのは幕末である。

◇ 出席報告

野口出席委員長

例会	項目	会員総数 (名誉会員を除く)	出席計算に 用いた会員数	出席または メイクアップ会員数		出席率(%)
				出席	メイク	
第1例会		20会員	19会員	出席: 13	メイク: 0	68.00%
第2例会		20会員	19会員	出席: 12	メイク: 0	63.00%
第3例会		20会員	19会員	出席: 9	メイク: 11	105.00%
第4例会		20会員	19会員	出席: 15	メイク: 11	137.00%
2月度平均		93.40%				

2月度出席表 出席:○ 欠席:/ M+数字:メイクアップ回数 出席免除:免

会員名	7日				出席数	M数	会員名	7日				出席数	M数
	7日	14日	21日	28日				7日	14日	21日	28日		
赤出川 清	/	○	/	○	2	0	野口 玲吉	○	/	/M1	/	1	1
安藤 寿博	/	/	/M1	○M1	1	2	長谷川和夫	○	○	/M1	○	3	1
泉 純一郎	○	/	○	○M1	3	1	林 久夫	○	○	/M1	○M1	3	2
伊藤 恭弘	○	○	/M1	○M1	3	2	三好 忠	休会	休会	休会	休会	0	0
稲垣 和夫	/	○	○M1	○M1	3	2	茂木 勉	/	/	○	○M1	2	1
金子 大作	○	○	○M1	○M1	4	2	森 輝義	○	○	○M1	○	4	1
小出 泰久	/	/	/	/	0	0	山本 英雅	○	/	/	○	2	0
後藤美紀代	○	○	○	○M1	4	1							
西條 昌良	/	/	/	/	0	0							
篠塚 茂男	○	○	○M1	○M1	4	2							
菅宮 浩行	○	○	/	/	2	0							
菅谷 昭夫	○	○	○M1	○M1	4	2							
菊池 寿紀	○	○	○M1	○M1	4	2							

メイクアップ 2/24 企業訪問・親睦旅行 安藤、泉、伊藤、稲垣、金子、後藤、篠塚、菅谷、菊池、林会員
2/24 地区米山奨学会(つくば) 茂木会員

◇ ニコニコBOX報告.....菊池親睦委員

山本 英雅 欠席を詫びて 2,000円
伊藤 恭弘 欠席を詫びて 2,000円
林 久夫 欠席を詫びて 2,000円
赤出川 清 欠席を詫びて 2,000円
長谷川和夫 企業間、親睦旅行 欠席を詫びて 2,000円

ニコニコBOX 10,000円
コインBOX 1,270円
ビジター(0件) 1,500円

合 計 15,770円

ニコニコBOX	
1週	8,000円
2週	4,000円
3週	2,000円
4週	10,000円
月計	24,000円
累計	278,000円

コインBOX	
1週	3,300円
2週	1,330円
3週	2,230円
4週	1,270円
月計	8,130円
累計	47,517円

3月の予定 7日 卓話 後藤会員 14日 卓話 安藤会員
21日 卓話 赤出川会員 21日 卓話 赤出川会員